

## 香港の隔離期間生活について

日本貿易振興機構 香港事務所  
日下部 有希  
(日本政策金融公庫から派遣)

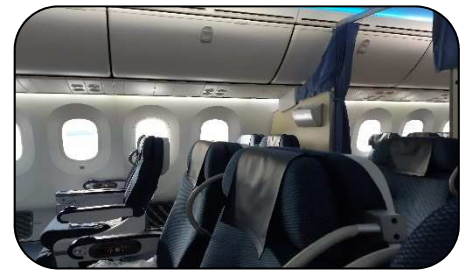
現在、香港では1日数人程度の感染者数とかなりコロナの抑え込みが進んでいる印象ですが、徹底された入境制限措置について、2021年4月にジェトロ香港事務所に赴任した際の私の経験をお伝えしたいと思います。

### ◆ 出国～入国

渡航が決まった4月2日当時は、3度目の緊急事態宣言前ということもあり、日本からの香港入国には香港政府指定ホテルへの21日間の強制隔離措置が取られていました※。

※香港政府は5月17日、日本に対する新型コロナウイルスのリスク分類を「中程度(C)」から「高い(B)」に引き上げ、従来の強制隔離21日間に加え飛行機搭乗前72時間以内のPCR検査陰性証明の提示が追加されました。

コロナ以前は日本・香港間で毎週約400便往来していた航空便も、成田空港発着で1日1往復のみ。出国当日の成田空港も空き店舗が目立ち、人もほとんどいない状態で異様な光景に映りました。同じ便の搭乗者も20名程度で、2列ごとに1名いるかないかという空き具合でした。



香港到着後、全身防護服をまとった空港スタッフに迎え入れられ、すぐ空港内でPCR検査を受けます。隔離期間中の行動をトラックする指定アプリのインストール、GPSリストバンドの装着等を行い、検査結果が出るまで数時間、空港内で待機となります。コロナ検査対応を担う衛生管理局の対応の下、一連の作業はシステムタイズされ、また常にスタッフも待機しており対応も非常にスムーズでした。こちらに来てから改めて感じたことですが、香港では2003年にSARSが大流行し死者数も多かったことから、今回のコロナ対応にもその経験が存分に活かされているようです。

2時間ほど待機し、陰性結果を確認。ここで手荷物を受け取り、隔離先ホテルに応じて用意されたバスに乗り込みます。渡航日が金曜日ということもあり、夕方の帰宅ラッシュ渋滞に巻き込まれましたが、日本を出て9時間ほどでやっとホテルに到着です。

## ◆隔離ホテルってどんなところ

香港政府が指定する 30 程のホテルの中から、自分自身で事前に予約を行います。飛行機搭乗時にはこのホテル予約票の提示が必須で、香港入境後の滞在先が決まっていなくて飛行機に乗り込むことができません。

私が滞在したのは、香港島の湾仔エリアに程近いホテルでした。ホテルによって内容が多少異なりますが、通常は隔離用の 21 日間滞在パックが用意されており、ホテル側が 3 食分の食事を用意します。チェックインをしたら、21 日間が終了するまでの間は一步も部屋の外に出ることはできません。

## ◆隔離先での食事、生活について

ホテルスタッフとの非接触が徹底されており、食事等の授受はドアの前の椅子に置いて行ってくれます。

食事は事前に内容が決められていますが、中華、洋食、日式（現地化された和食）のお弁当が配給されます。ここで香港式を体験することになるのですが、ご飯の量の多いこと！基本的に野菜は少なめ、肉とご飯がほぼ毎日続きましたが味は悪くありません。バナナ、リンゴ、洋ナシなどのフルーツも付くので最初の方は食事を楽しんでいましたが、似たような味付けにさすがに後半は飽きてしまいました。



ただ、私が滞在したホテルは Uber や Foodpanda といったデリバリーサービスに加えて、知人からの差し入れ等も可能で、ホテルの受付経由で部屋まで届けてくれます。日本から持参した青汁で野菜不足を補いつつ、ジェットスタッフの方からもヤクルトや納豆等を差し入れしてもらい、なんとか乗り切ることができました。

水、リネン類は事前にストックが部屋に用意されており、不足するものはホテルに頼むとすぐに対応してくれます。一方、感染対策の観点からランドリーサービスはなく、日本から持参した簡易洗濯セットが役立ちました。



滞在した部屋はツイン仕様でベッドの一つが撤去されており、その分部屋が広く使えたため日本から持参したヨガマットの定位置となりました。毎日の夕方の筋トレを習慣に運動を心がけ、隔離明けに向けた体力低下の予防に努めました。

興味深かったのは、ホテル側が独自のショッピングサイトを  
設置し隔離ビジネスを行っていた点です。お菓子、インスタ  
ント麺、アルコール等の嗜好品の販売の他、フィットネス機材や  
Nintendo Switch の時間貸しなどバリエーションも豊かで、あ  
る意味これも隔離期間を飽きさせないホスピタリティかもしれ  
ません。

### ◆隔離期間中の健康チェック

毎日朝夕の体温記録が義務づけられ、香港到着時の PCR 検査  
以外に隔離期間中にも 2 回、12 日目と 19 日目に検査を行いま  
す。特に 19 日目検査での陰性確認が隔離解除の条件となりま  
す。

また、空港で装着したリストバンドはインストールしたアプ  
リと連動しており、1 日に数回リストバンドに印字された QR コ  
ードを読み込ませ、隔離先ホテル部屋にいることを証明する必  
要があります。

### ◆解放後 . . .

最後の PCR 検査の陰性結果を受け 3 週間の捕らわれの身から解放された時の心情は、外に出られること  
に対する嬉しさと違和感が半々でした。自分でも驚くことに部屋から 1 歩も出ない生活に慣れてしまっていた  
のです。それだけ隔離期間が長いということでもありますが、現在香港における市中感染者がゼロという事実  
に鑑みると、香港政府の徹底した封じ込め施策が功を奏していることを身をもって体感する貴重な機会とな  
りました。

～作者プロフィール～

2009 年 日本政策金融公庫入社。2020 年 5 月から、日本貿易振興機構に派遣。1 年間の東京本部勤務を経  
て、2021 年 4 月から日本貿易振興機構香港事務所に駐在。

